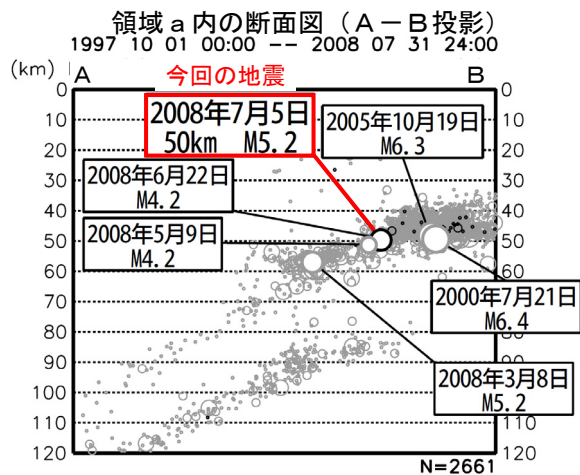
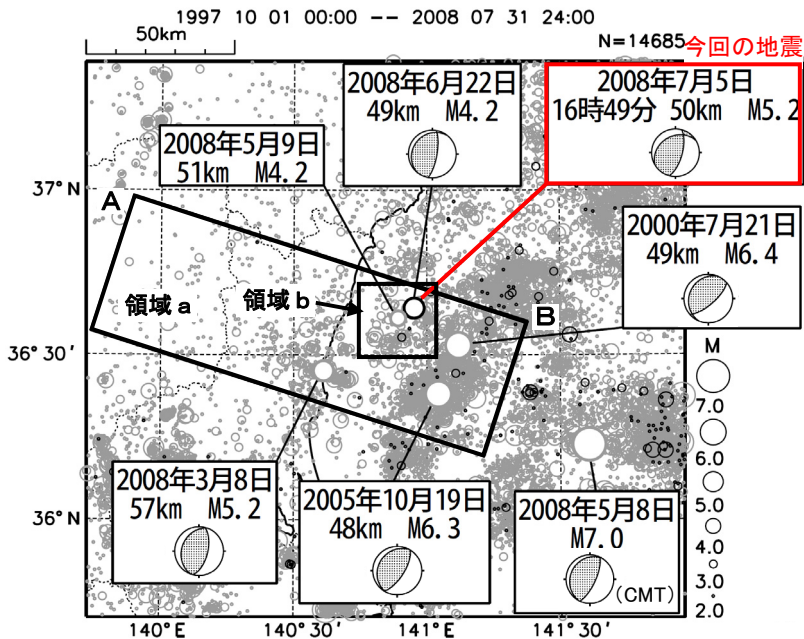


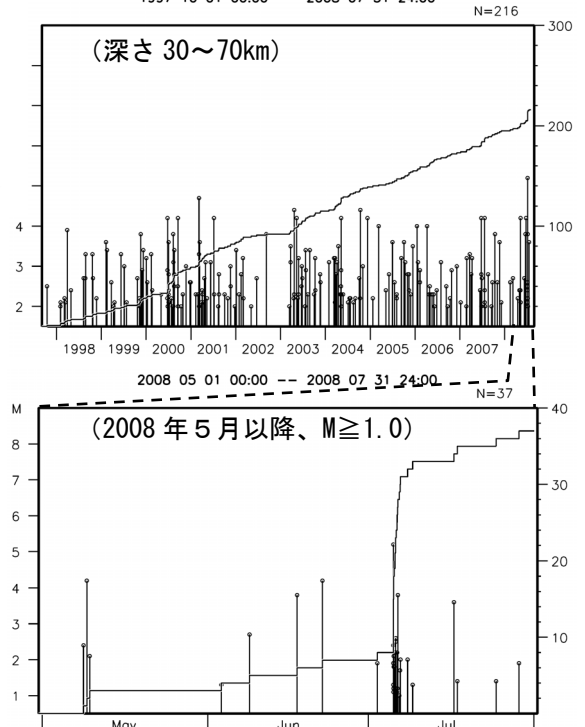
7月5日 茨城県沖の地震

震央分布図 (1997 年 10 月以降、深さ 0~120km、 $M \geq 2.0$)
(2008 年 6 月以降の地震を濃く表示)

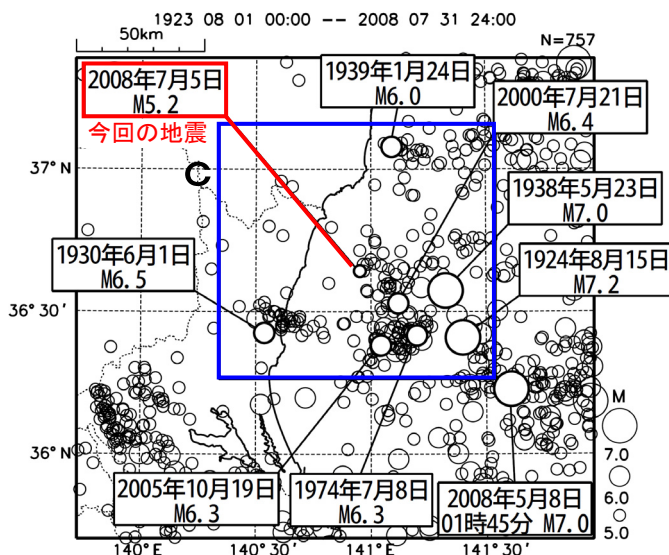


2008 年 7 月 5 日 16 時 49 分に茨城県沖の深さ 50km で M5.2 (最大震度 5 弱) の地震が発生した。発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した地震である。今回の地震の震源付近では、2008 年 6 月 22 日にも M4.2 (最大震度 3) の地震が発生している。今回の地震の南東約 30km 付近には地震活動が活発な領域があり、最近では 2005 年 10 月 19 日に M6.3 (最大震度 5 弱) の地震が発生している。

領域 b 内の地震活動経過図、回数積算図



震央分布図 (1923 年 8 月以降、深さ 0~120km、 $M \geq 5.0$)



1923 年 8 月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近 (領域 c) では、時々 M6 クラスの地震が発生している。

領域 c 内の地震活動経過図

